

日本学術会議主催＊学術フォーラム

ジェンダー視点が変える科学・技術の未来 ～GS10フォローアップ～

(司会・進行) 松尾 由賀利(日本学術会議第三部会員、法政大学理工学部教授)

開催挨拶 山極 壽一(日本学術会議会長)・濱口 道成(国立研究開発法人科学技術振興機構理事長)

来賓挨拶 武川 恵子(内閣府男女共同参画局局长)・佐野 太(文部科学省科学技術・学術政策局局长)



13:20～14:00 **基調講演**

「Gendered Innovations: Science, Medicine, and Technology」

Londa Shiebinger(スタンフォード大学 教授)

14:00～14:40 **各種報告**

「ダイバーシティ推進に関する評価手法」 藤井 良一(日本学術会議第三部会員、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構長)

「女性参画拡大により期待されるイノベーション上の利点」

行木 陽子(日本学術会議特任連携会員、日本アイ・ピー・エム株式会社技術理事)

「日本学術会議の取り組み」

三成 美保(日本学術会議副会長・第一部会員、奈良女子大学副学長・教授(研究院生活環境科学系))

「JSTの取り組み」

安孫子 満広(国立研究開発法人科学技術振興機構ダイバーシティ推進室調査役)

14:55～15:40 **他の団体の取り組みと課題**

「人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会の取り組み」

井野瀬 久美恵(日本学術会議連携会員、甲南大学文学部教授)

「男女共同参画学協会連絡会(理系)の取り組み及び清水建設の取り組み」

寺田 宏(男女共同参画学協会連絡会 委員長、清水建設株式会社建築営業本部副本部長)

「LIXILの取り組み」

藤森 義明(LIXILグループ 相談役)

「産学連携(大学と企業の共同研究等)の好事例」 工藤 眞由美(日本学術会議連携会員、大阪大学理事・副学長)

15:45～17:00 **パネル討論「ジェンダー視点を考慮した科学技術を進めるために今後やるべきこと」**

【パネリスト】 山極 壽一(日本学術会議会長・第二部会員、京都大学総長)

濱口 道成(国立研究開発法人科学技術振興機構理事長)

高橋 裕子(日本学術会議連携会員、津田塾大学学長、学芸学部教授)

小林 いずみ(日本学術会議特任連携会員、ANAホールディングス株式会社、

三井物産株式会社、株式会社みずほフィナンシャルグループ社外取締役)



【ファシリテーター】 渡辺 美代子(日本学術会議副会長・第三部会員、国立研究開発法人科学技術振興機構副理事)



●日 時:平成30年6月14日(木) 13:00(開場12:30)～17:00

●場 所:日本学術会議 講堂(東京都港区六本木7-22-34)

東京メトロ千代田線「乃木坂駅」下車、5番出口(青山霊園方面)より徒歩1分

●申込み:下記申込みフォームより6月13日(水)17時までにお申し込みください。

<https://form.cao.go.jp/sci/opinion-0003.html> 参加無料、定員250名・先着順

●問合せ:日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当、電話:03-3403-6295

●共 催:国立研究開発法人科学技術振興機構